【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成17年9月8日(2005.9.8)

【公開番号】特開2004-15491(P2004-15491A)
【公開日】平成16年1月15日(2004.1.15)
【年通号数】公開・登録公報2004-002
【出願番号】特願2002-167008(P2002-167008)
【国際特許分類第７版】
　Ｈ０４Ｂ　10/10
　Ｇ０２Ｂ　26/08
　Ｈ０４Ｂ　10/105
　Ｈ０４Ｂ　10/22
【ＦＩ】
　Ｈ０４Ｂ　 9/00　　Ｒ
　Ｇ０２Ｂ　26/08　　Ｅ

【手続補正書】
【提出日】平成17年3月23日(2005.3.23)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　複数の相手装置に対して光により情報伝送を行う光空間伝送装置であって、
　所定の情報信号で変調された光を射出する光源と、
　複数のミラーがマトリクス状に配置され、前記光源から射出された光を反射するミラーアレイユニットとを有し、
　前記複数のミラーはそれぞれの向きが可変であって、前記光源からの光を前記複数の相手装置に向けて反射する複数のミラー群を形成するように制御されることを特徴とする光空間伝送装置。
【請求項２】
　前記ミラー群の数が可変であることを特徴とする請求項１に記載の光空間伝送装置。
【請求項３】
　前記ミラー群のそれぞれを構成するミラーの数を、前記相手装置までの距離に応じて変更することを特徴とする請求項１または２に記載の光空間伝送装置。
【請求項４】
　前記各ミラー群による光の集光度を、前記相手装置までの距離に応じて変更することを特徴とする請求項１乃至３に記載の光空間伝送装置。
【請求項５】
　複数の相手装置に対して光により情報伝送を行う光空間伝送装置であって、
　前記複数の相手装置から射出された光を受光する受光素子と、
　複数のミラーがマトリクス状に配置され、前記複数の相手装置から射出された光を前記受光素子に向けて反射するミラーアレイユニットとを有し、
　前記複数のミラーはそれぞれの向きが可変であって、前記複数の相手装置から射出された光を前記受光素子に向けて反射する複数のミラー群を形成するように制御されることを特徴とする光空間伝送装置。
【請求項６】

前記ミラー群の数が可変であることを特徴とする請求項５に記載の光空間伝送装置。
【請求項７】
前記ミラー群のそれぞれを構成するミラーの数を、前記相手装置までの距離に応じて変更することを特徴とする請求項５または６に記載の光空間伝送装置。
【請求項８】
前記各ミラー群による光の集光度を、前記相手装置までの距離に応じて変更することを特徴とする請求項５乃至７に記載の光空間伝送装置。
【請求項９】
請求項１に記載の光空間伝送装置と、請求項５に記載の光空間伝送装置とを含むことを特徴とする光空間伝送システム。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１４】
【課題を解決するための手段】
本発明では、上記課題を解決するため、複数の相手装置に対して光により情報伝送を行う光空間伝送装置において、所定の情報信号で変調された光を射出する光源と、複数のミラーがマトリクス状に配置され、光源から射出された光を反射するミラーアレイユニットとを設ける。そして、複数のミラーはそれぞれの向きが可変であって、前記光源からの光を前記複数の相手装置に向けて反射する複数のミラー群を形成するように制御される。ここで、ミラー群の数は、可変である。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１５】
また、本発明では、複数の相手装置に対して光により情報伝送を行う光空間伝送装置であって、複数の相手装置から射出された光を受光する受光素子と、複数のミラーがマトリクス状に配置され、複数の相手装置から射出された光を受光素子に向けて反射するミラーアレイユニットとを設ける。そして、複数のミラーはそれぞれの向きが可変であって、複数の相手装置から射出された光を受光素子に向けて反射する複数のミラー群を形成するように制御される。ここで、ミラー群の数は可変である。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１６】
なお、上記各発明において、ミラー群のそれぞれを構成するミラーの数を、相手装置までの距離に応じて変更するようにしてもよい。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１７】
また、相手装置までの距離に応じて、各ミラー群による光の集光度を変更してもよい。